

学校関係者評価委員会開催資料

学校法人北海道安達学園
札幌観光プライダル・製菓専門学校

開催日：2022年3月2日（水）11：00～12：30

出席委員：外部側関係者（業界団体関係者1名、企業関係者3名、姉妹校卒業生1名）

学校側関係者（理事長、学校長、副校長、学校長代理、事務局長、教務部長代理、次長）

2021年度自己評価&学校関係者評価シート

札幌観光プライダル・製菓専門学校

1、教育理念・目標、人材育成

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
自己評価		関係者評価
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	4	4
1-2 学校の特色は何か	4	4
1-3 学校の将来構想を抱いているか	4	4
評価項目総括	学校法人北海道安達学園では、3つの教育方針である「基礎知識・技術の習得」「専門知識・技術の習得」「社会性の習得」に基づき、学園使命である、教育事業を通じて、社会に貢献する人材の育成に努めています。新型コロナウイルスの影響で観光業界、プライダル業界は引き続き大きな影響を受け、新卒採用求人数が減少をし就職活動にも大きな影響を受けたが、学生たちが夢をあきらめないよう、教職員同士のさらなる連携強化と企業様との連携のもと教育活動に取り組む事ができた。	
各評価委員からの意見や課題	新型コロナウイルスの収束の兆しが見えず観光業界が大きな影響を受ける中、観光、プライダル産業においてDX化が加速しており、当校においても教育ICT化の促進だけでなく、ホスピタリティ産業におけるDXも教育に取り組む。また、外部環境にも臨機応変に対応できる中長期的なキャリアプランを持って取り組める学生の育成をしていく。	
今後の改善方針	早期のキャリア教育の実施 引き続きの教育ICT環境の整備と授業の改善	

2、学校運営

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
自己評価		関係者評価
2-1 運営方針は定められているか	4	4
2-2 事業計画は定められているか	4	4
2-3 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	4	4
2-4 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	4	4
2-5 意思決定システムは確立されているか	4	4
2-6 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4
評価項目総括	・運営方針は、事業計画にまとめ、毎年作成している。事業計画は、法人理事会の承認を得て、幹部運営会を経由し周知を図っている。運営組織は、組織図に全教職員を組織上に位置づけ、幹部会議、校務会会議、職員会議を通じて意思決定システムを構築している。人事、給与に関する規定については、法人総務部で一括整備・管理を行っている。賃金の決定は、業務査定・業績査定に応じ行われている。コロナ禍におけるオンライン授業の実施に関して運営に問題はないが、さらなる教育効果向上を目指し勉強会の実施をする。教育ICTのさらなる充実により効率化を図る。	
各評価委員からの意見や課題	オンライン授業の実施は、比較的スムーズに運営をすることができたが、授業の事前準備等にどうしても時間を割かざるを得ない状況となり効率的な授業運営という点では課題が残った。	
今後の改善方針	今後の授業運営においても対面、オンライン両方で優れている所を生かしながら当校における教育ICT化を促進する	

3、教育活動

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
3-1	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられて	4	4
3-2	修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	4	4
3-3	カリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
3-4	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	4	4
3-5	キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	4	4
3-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4
3-7	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
3-8	教員の専門性を向上させる研修を行っているか	4	4
3-9	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	4
3-10	資格取得の指導体制はあるか	4	4
評価項目総括	コロナ禍において、学びを充実を図るため、オンラインと対面を併用した授業構成を組み、従前に近い授業運営ができたのではないかとされる。海外旅行客が激減した事から、英語の教育だけではなく、日本語教育、社会人マナー、様々な文化を学ぶカリキュラムの実践し、その取り組みに企業様からも評価をいただいた。エアライン学科で新たにアナウンスコンテストを実施し複数の企業様との連携によりこの状況下でも新しいイベントを造成する事ができた		
各評価委員からの意見や課題	コロナ禍で接客の現場でのマスクの着用、非接触など以前では考えられなかった事が当たり前になっている現状で、改めて基本となるサービスの基礎やおもてなしスキルを理解、実践させることが重要であるとする		
今後の改善策	基本を理解した上での、おもてなしの現場に導入されたDXも理解できる人材の育成をする。		

4、教育成果

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
4-1	就職率（卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているか	3	3
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4	4
4-3	退学率の低減が図られているか	4	4
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	4
評価項目総括	2020年2月頃からの新型コロナウイルスの影響もあり、採用試験の中止、停止など一昨年に比べて企業からの求人数が減り、それに伴い第一希望の企業に受験をすることができなくなった学生がいた。しかしながらスタッフの連携強化と企業様との連携強化により新規の求人の開拓を多数行い、学生の進路を中長期的に考えた指導ができた。引き続き未内定の学生のケアをしていく。		
各評価委員からの意見や課題	就職率、または専門就職率の向上を図るための採用企業様のさらなる開拓。		
今後の改善策	インターンシップ制度の受け入れ企業様の新規開拓。現受け入れ先との連携強化だけでなく慢性的に人材が不足しているエリアなどの行政と企業との官民学連携を深めていく。		

5、学生支援

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
5-1	就職関する体制は整備されているか	4	4
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
5-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	4
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
5-6	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
5-7	保護者と適切に連携しているか	4	4
5-8	卒業生への支援体制はあるか	4	4
評価項目総括	授業だけでなく、オンラインを利用した個別面談の実施や就職指導を実施することでより細かい学生対応ができたと思う。企業説明会などもオンラインでの実施を促進し、この状況下でありながら多くの企業様との連携をとる事ができた。企業からの既卒向けの求人などに関しても学内で使用している共有システムを使用しながら各学生の状況の確認や就職の斡旋等ができています。		
各評価委員からの意見や課題	課外活動や、サークル活動に関してコロナの影響で制限をかけざるを得ない状況であった。		
今後の改善方策	学内での更なる感染リスクの低減を図り、安全に活動ができる体制を職員一同連携して取り組む		

6、教育環境

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
6-2	学科実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
6-3	防災に対する体制は整備されているか	4	4
評価項目総括	学内施設は、実際の現場で使用されている設備を整えプロと同じ設備にこだわっている。学外実習、インターンシップについては十分な教育体制を整備しており、コロナ禍であるが感染対策を徹底し企業様との連携のもと多くの学生がインターンシップを経験できている。残念ながら海外研修はコロナ禍で実施できなかった。防災訓練は、避難方法等を指示して実施をしている。		
各評価委員からの意見や課題	時代の流れに即した新しい形での実習や研修、インターンシップを含めた校外実習など実践する。		
今後の改善方策	企業、団体、地域とのさらなる連携の強化		

7、学生の募集と受け入れ

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	3	3
7-2	学生募集において教育成果は正確に伝えられているか	4	4
7-3	入学専攻は適性かつ公平な基準に基づき行われているか	4	4
7-4	学納金は妥当なものとなっているか	4	4
評価項目総括	本校は、北海道私立専修学校各種学校連合会の加盟校であり、連合会の定めたルールに基づいた募集時期・内容を遵守している。また、入学案内、募集要項、ホームページ等の通り、適正に募集活動は行われており、学納金及び教科書・教材費等は毎年見直しを行い、適正かつ妥当であると思う。入学専攻方法も募集要項の通り、適正かつ公正な基準をもとに実施している。		
各評価委員からの意見や課題	観光業界への業界不安から、募集活動において影響を受けた。業界不安の払拭、仕事のやりがいの伝達など実施をしたが、もっと企業様との連携の強化を進めていく事ができたのではないかとと思われる		
今後の改善方策	更なる企業様との連携強化		

8、財務

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
評価項目総括	財務は学校運営の重要な一つである。事業計画を基に中長期の展望を見据え、収支予算計画を作成する。学校、理事会、評議員会と複数の目によるチェック体制のもと、より現実的な予算編成となっている。会計監査は、監事による監査及び公認会計士による監査を実施、計算書類は適正である旨の監査報告書をいただいている。 財務情報の公開体制については、組織的に取り組んでいる。		
各評価委員からの意見や課題	特にありません。		
今後の改善方策	特にありません。		

9、法令等の遵守

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
9-1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
9-2	個人情報に監視、その保護のための対策がとられているか	4	4
9-3	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	4
9-4	自己点検・自己評価結果を公開しているか	4	4
評価項目総括	法令や設置基準等に従い適正に運営を行っている。自己点検・自己評価の結果について公開を速やかに行っている。		
各評価委員からの意見や課題	特にありません。		
今後の改善方策	特にありません。		

10、社会貢献

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	4
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4
評価項目総括	従前実施をしていたボランティア活動はコロナ禍のため実施ができなかったが、オンラインでのセミナー受講による理解度の向上を図る事ができた。またブライダル学科での挙式運営、製菓学科の地域貢献レシピの開発、ホテル学科のカクテルコンペティションなど実施する事ができた。		
各評価委員からの意見や課題	各学科ごとに様々な取り組みを行い多方面から評価を頂いたが、今後はさらに幅を広げ学校として取り組む地域貢献、社会貢献活動を実践する。SDGsについての学びは学科単位で行なっているが水平展開をして実践する。		
今後の改善方策	各教員だけでなく学生の意見なども積極的に取り組む。またSDGsについての教育も入学時より実施する		

11、国際交流

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
11-1	グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか	4	4
評価項目総括	コロナ禍であったが 日本在住の留学生の入学があり各クラス単位で交流を深めている。引き続き語学授業の充実を図っていく		
各評価委員からの意見や課題	ニセコでのインターンシップなど国内にしながら国内交流ができる場所での研修の実施などを行い学生の語学力が向上した。 留学からの帰国者に関しての就職サポートもオンラインを使用しながら実践する事		
今後の改善方策	アフターコロナに向けて引き続きの取り組みを行う		

■今後の取り組みについて

各評価項目について、各評価関係者からの意見や課題を踏まえ、今後の改善方策等を計画的に検討し実施して行くことを評価委員一同確認し、教育体制を強化していく。